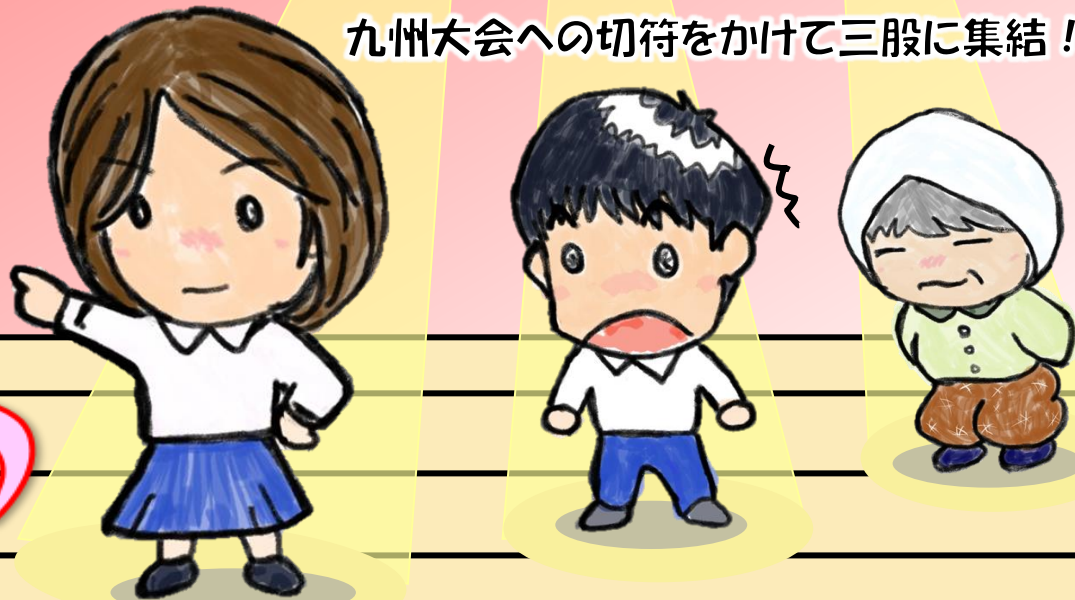


第76回

第45回 宮崎県高等学校総合文化祭 演劇部門

宮崎県高等学校演劇大会

9月の県予選会を勝ち抜いた6校の高校演劇部が、九州大会への切符をかけて三股に集結！



出場高校！

宮崎東高等学校通信制
宮崎南高等学校
都城西高等学校
宮崎商業高等学校
宮崎日大高等学校
宮崎北高等学校

県内の高校演劇部の頂点を決める大会

「宮崎県高等学校演劇県大会」

「三股を目指そう！」を合言葉に、

9月の県予選会を勝ち抜いた6校が三股に集結し、九州大会への切符をかけて全力で演じます！

高校生が、演劇という翼を広げ、九州大会へと、

全国大会を目標に羽ばたいていく瞬間を

・・・お楽しみください！

三股町立文化会館
自主文化事業



会場
三股町立文化会館

※お申し込み不要
※公演毎の入退場は可能です

入場無料

2023年

11/18(土)

開場 13:00・・・2校上演

開演 13:40

11/19(日)

開場 9:40・・・4校上演

開演 10:00

お問い合わせ／三股町立文化会館 Tel:0986-51-3462

<https://bunka.town.mimata.lg.jp>

主催／三股町・三股町教育委員会・宮崎県高等学校文化連盟演劇専門部

大会スケジュール

11月18日(土)

13:00~
開会式

13:40~
上演①

15:00~
上演②

① 宮崎東高校 通信制



『生的関係』 香川芽生(生徒) 作

宮崎の安アパート。同居する成人男性・藤岡と一般女性・しよーちゃんは、「友達以上、恋人未満」の関係。そこに入り出す友人と、東京で暮らす女子アナウンサー、彼らの織りなす人間模様。

② 宮崎南高校



『学校の片隅で、数式を叫ぶ』 河原美那子(顧問)と南高校演劇部 作

夏休みの補講をなんとか逃れようと、再テストに挑む演劇部3人組の前に現れた数学の先生は、なんと！…。そこから、演劇部3人組と先生の不思議な交流が始まる。1年生4人だけの初めての緊張の舞台が、高文連の大会となった。

③ 都城西高校



『どこだろう、今痛んだのは』 長尾直紀(顧問) 作

人間はウソをつく生き物である。ウソをつくから人間であるとも言える。では、国家の統制が進んで、それを禁じられたらどうなるか、というシチュエーション演劇。部員総勢17人で、舞台上上がるのが12人というのも壮観だ。

④ 宮崎商業高校



『シンギュラリティ』 永迫直弘(顧問) 作

この耳慣れない言葉は、「技術的特異点」という、これも耳慣れない日本語に訳されるらしい。AIがヒトの恋愛まで予測して操る時代が来るのか？「好きになる人までAIに決められたくない！」と思った高校生の未来はどうなる？

11月19日(日)

9:40~
開場

10:00~
上演③

11:20~
上演④

⑤ 宮崎日大高校



『大事なことは、幼稚園で教わりました』 宇田川隆之介(顧問) 作

どこにでもありそうな幼稚園ののどかな景色。そこから、次々に起こるどんでん返し。これもまた、近未来に人間を待ち受ける光景となるのか。女子部員8名が繰り広げる、賑やかな舞台。

⑥ 宮崎北高校



『アイナンバー』 長友展昭(顧問) 作

マイナンバーを始めとして、AI技術の進歩と共に人が無機質な数字によって統制されるようになった現代社会。そんな時代に、人が人である意味とは何かを問いかける。部員も増えて、賑やかになった北高校の舞台に注目。

13:10~
上演⑤

14:30~
上演⑥

15:30~
審査

16:00~
講評

17:00~
閉会式

文責／高文祭審査員 段正一郎

